

番号：140451

国名：中華人民共和国

担当部署：地球環境部 環境管理第1課

案件名：環境にやさしい社会構築プロジェクト詳細計画策定調査（評価分析）

### 1. 担当業務、格付等

- (1) 担当業務：評価分析
- (2) 格付：3号～4号
- (3) 業務の種類：調査団参団

### 2. 契約予定期間等

- (1) 全体期間：2014年7月上旬から2014年8月中旬まで
- (2) 業務M/M：国内 0.50M/M、現地 0.23M/M、合計 0.73M/M
- (3) 業務日数：準備期間 4日 現地業務期間 7日 整理期間 6日

### 3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、方法

- (1) 簡易プロポーザル提出部数：1部
- (2) 見積書提出部数：1部
- (3) 提出期限：6月25日(12時まで)
- (4) 提出方法：専用アドレス (e-propo@jica.go.jp) への電子データの提出又は郵送(〒102-8012 東京都千代田区二番町5番地25二番町センタービル) (いずれも提出期限時刻必着)

※2014年2月26日以降の業務実施契約（単独型）公示案件（再公示含む）より、電子媒体による簡易プロポーザルの提出を本格導入しています。

提出方法等詳細についてはJICAホームページ（ホーム>JICAについて>調達情報>お知らせ>「コンサルタント等契約における業務実施契約（単独型）簡易プロポーザルの電子提出本格導入について」（[http://www.jica.go.jp/announce/information/20140204\\_02.html](http://www.jica.go.jp/announce/information/20140204_02.html)）をご覧ください。なお、JICA本部1階調達部受付での受領は廃止しておりますので、ご持参いただいても受領致しかねます。ご留意ください。

### 4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針等：
    - ①業務実施の基本方針 8点
    - ②業務実施上のバックアップ体制等 2点
  - (2) 業務従事者の経験能力等：
    - ①類似業務の経験 50点
    - ②対象国又は同類似地域での業務経験 20点
    - ③語学力 0点
    - ④その他学位、資格等 20点
- (計100点)

類似業務	評価分析に係る各種調査
対象国／類似地域	中国／全途上国
語学の種類	—

### 5. 条件等

- (1) 参加資格のない社等：特になし
- (2) 必要予防接種：なし

## 6. 業務の背景

中国は1970年末以来の市場経済化を背景として急速な経済成長を遂げてきた。1980年から2010年までの30年間のGDP年成長率は9%に達し、先進国が100年余りをかけて成し遂げた工業化を20-30年という短期間で達成した。経済成長は中国国民の生活水準を押し上げる一方、工業化・都市化の進展は、二酸化炭素や汚染物質の大気中への排出増加、工業・生活廃水の増加等による水質悪化など環境負荷を著しく増加させている。環境問題は、中国国民の安全を脅かすだけでなく、経済の安定成長を阻害する要素となっている。

2005年3月、中国共産党中央委員会により開催された「人口と資源・環境活動会議」で、胡錦濤総書記は、「環境にやさしい社会構築」の必要性を呼びかけた。以降、この動きは加速化し、2012年11月の中国共産党第十八次全国代表大会では、環境調和型社会を目指す「生態文明建設」が持続的経済成長と同格の国家最重要課題として位置づけられた。

中国政府は生態文明の達成には、経済活動の主体となる産業界（民間企業）と住民・NGO等の市民社会との協働が不可欠であるとし、協働の在り方について模索している。中国政府は環境関連の立法（循環経済促進法、固体廃棄物汚染防止法等）や制度化（グリーン購入、環境認証、企業環境情報報告等）を進めているが、先進国、とりわけ日本に比べて、制度構築や運用面で依然大きな差がある。中でも大気汚染を中心とする環境汚染への対策、グリーン経済の推進、社会環境管理、対外援助に際しての環境審査制度に関し、中国政府は日本の先駆的事例から学ぶことを強く希望している。

## 7. 業務の内容

本業務従事者は、技術協力プロジェクトの仕組み及び手続きを十分に把握の上、他の業務従事者や調査団員として派遣される機構職員等と協議・調整しつつ、担当分野に係る協力計画策定のために必要な以下の調査を行う。作業にあたっては、JICA事業評価ガイドラインに沿って、プロジェクトの協力について当初計画と活動実績、計画達成状況、評価5項目を確認するために、必要なデータ、情報を収集、整理し、分析する。また、本業務従事者は、他の課題を担当業務とする者が作成する報告書（案）を含めた報告書（案）全体の取りまとめに協力する。

具体的担当事項は次のとおりとする。

### （1）国内準備期間（2014年7月上旬～7月中旬）

- ① 要請背景・内容を把握する（要請書・関連報告書等の資料・情報の収集・分析）。
- ② 詳細計画策定調査計画・方針案を検討し、現地調査での調査項目を明らかにする。
- ③ 既存資料から中国の環境管理・大気汚染対策の概要、実施体制を取りまとめる。
- ④ 中国における関連プロジェクトに関する資料・情報の収集、分析を行う。
- ⑤ 評価5項目（妥当性、有効性、効率性、インパクト、持続性）の観点から調査するため、不足している各種情報や関係者への質問事項を検討する。
- ⑥ 中国関係機関（環境保護部、日中友好環境保全センター等）に対する質問票（案）（和文）を作成する。
- ⑦ プロジェクトのPDM(Project Design Matrix)（案）（和文）、PO(Plan of Operations)（案）（和文）を作成する。
- ⑧ 詳細計画策定調査団打合せ、対処方針会議等に参加する。

### （2）現地派遣期間（2014年7月中旬）

- ① JICA中国事務所等との打合せに参加する。
- ② 中国関係機関との協議に参加し、当該プロジェクトの事前評価を行うために必要な情報を収集し、整理・分析を行う。
- ③ 以下の項目につき、現状と課題を把握する。
  - ア) 関連各組織の所掌業務、部署別人数、各人の教育のバックグラウンド、業務経験
  - イ) 環境管理・大気汚染対策に関する各関連組織の関与及び取り組み状況
  - ウ) 本プロジェクト実施に係る予算措置、人員配置

エ) JICA及び他ドナー等が実施する関連プロジェクトの実施状況  
オ) 質問票で挙げた質問事項

- ④ 中国関係機関と協議を行い、PDM(案) (和文)、PO(案) (和文)の作成に協力し、協力内容、実施体制を他の団員と共に検討する。
- ⑤ 中国関係機関と協議を行い、協議で合意された内容につき、M/M (Minutes of Meetings) (案) (和文) 及びR/D (Record of Discussions) (案) (和文)の作成に協力する。
- ⑥ 現地調査結果をJICA中国事務所等に報告する。

(3) 帰国後整理期間 (2014年7月下旬)

- ① 事業事前評価表 (案) (和文)の作成に協力する。
- ② 帰国報告会、国内打合せに出席し、担当分野に係る調査結果を報告する。
- ③ 担当分野に係る詳細計画調査報告書 (案) (和文)を作成する。

## 8. 成果品等

本契約における成果品は以下のとおり。

詳細計画策定調査報告書 (案) (和文)

提出先：地球環境部 環境管理第一課

※なお、上記成果品については、電子データにて提出することとする。

## 9. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、「JICAコンサルタント等契約における見積書作成ガイドライン」 (<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>) を参照願います。留意点は以下のとおりです。

(1) 航空賃及び日当・宿泊料等

航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含みます (見積を計上して下さい)。航空賃については、成田 (日本) - 北京 (中国) 間を計上して下さい。

## 10. 特記事項

(1) 業務日程／執務環境

① 現地業務日程

現地派遣期間は2014年7月13日～7月19日を予定しています。

当機構の調査団員は本業務従事者と同様若しくは数日遅れて現地調査を開始し、本業務従事者より数日前に現地調査を終える予定です。すなわち、本業務従事者が単独で現地調査を行う期間があります。

② 現地での業務体制

本業務に係る調査団構成は、以下のとおりです。

ア) 総括 (JICA)

イ) 協力企画 (JICA)

ウ) 組織体制／支援計画 (省庁専門家)

エ) 調査分析 (コンサルタント)

② 便宜供与内容

当機構中国事務所による便宜供与事項は以下のとおりです。

ア) 空港送迎

あり

イ) 宿舎手配

あり

ウ) 車両借上げ

全行程に対する移動車両の提供

エ) 通訳備上

必要に応じあり (中国語⇄日本語)

- オ) 現地日程のアレンジ  
機構がアレンジします。
- カ) 執務スペースの提供  
なし

(2) 参考資料

本業務に関する以下の資料が、当機構図書館のウェブサイト(<http://libopac.jica.go.jp/>)で公開されています。

- ・ 中華人民共和国 日中友好環境保全センタープロジェクトフェーズIIIプロジェクト事業完了報告書  
(<http://libopac.jica.go.jp/images/report/P0000173268.html>)
- ・ 中華人民共和国 貴陽市大気汚染対策計画調査最終報告書  
(<http://libopac.jica.go.jp/images/report/P0000163585.html>)
- ・ 中華人民共和国 循環型経済推進プロジェクト・サブプロジェクト3「静脈産業類生態工業園整備の推進」協力枠組確定調査報告書  
(<http://libopac.jica.go.jp/images/report/P1000001312.html>)

(3) その他

- ①業務実施契約（単独型）については、単独（1名）の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。
- ②本業務従事者は評価分析業務に従事した経験があることが望ましい。
- ③本業務従事者は中国語ができれば望ましい。